



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場会社名 林兼産業株式会社
 コード番号 2286 URL <http://www.hayashikane.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 橋本 鉄志
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 総務部長 (氏名) 松尾 和成
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 083-266-0210

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	24,684	△4.5	201	89.2	205	130.7	128	—
23年3月期第2四半期	25,839	1.0	106	△77.4	89	△77.3	△53	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 224百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △176百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1.45	—
23年3月期第2四半期	△0.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	29,432	5,099	15.7
23年3月期	27,506	4,884	16.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,606百万円 23年3月期 4,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△2.8	400	44.9	320	72.3	180	—	2.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	89,100,000 株	23年3月期	89,100,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	59,976 株	23年3月期	59,976 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	89,040,024 株	23年3月期2Q	89,041,236 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報等	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、本年3月に発生した東日本大震災の影響により、企業業績の回復基調は鈍り、雇用・所得情勢の持ち直しの動きは緩やかになりました。食品業界におきましては、個人消費が低調に推移するなか、食の安全・安心を脅かす食中毒事件や、原発事故による放射性セシウム問題が発生するなど、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか当社グループは、中期経営計画「プラス2012」(平成22年3月期～平成24年3月期)に掲げた重点戦略、事業別戦略を推進し、収益力と企業体質の強化に取り組んでまいりました。

また、当社は既存事業の収益構造の改善を図るとともに、今後の成長への布石として、当社の技術力を生かした新たな市場の開拓を進めてまいりました。その一環として、マレーシア国内および他のイスラム圏向けにハラール食品事業を展開することとし、同国の食品製造会社と現地合弁会社「OMAKANE SDN. BHD.」を設立して、当第3四半期連結会計期間より事業を開始することといたしました。ハラール食品は、加工や調理に関する厳格なイスラム法の作法が遵守された食品であり、今後の市場の拡大が見込まれます。現在、常温流通可能なソーセージが普及していないマレーシア市場などを視野に、当社の魚肉ソーセージの製造技術を生かして新たな市場の創出を図ってまいります。

飼料事業におきましても、配合飼料によるマグロ養殖の実現に向けた事業展開を進めており、先発の成魚用ソーセージ型飼料「ツナ・フード」に続き、8月、稚魚用飼料「ツナッコ」の製造販売を開始し、稚魚から成魚までの配合飼料一貫給餌の態勢を整えました。マグロ養殖で使用される従来の生餌に比べてコスト削減や労力の軽減を図ることができ、今後のマグロ完全養殖の事業化に大きく貢献することができます。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、前連結会計年度における連結子会社の減少による減収や、畜産用飼料および水産物の販売数量の減少により246億84百万円(前年同期比4.5%減少)となりました。損益面におきましては、魚肉ねり製品の販売単価の下落や食肉加工品原料の値上がりなどがあったものの、養魚用飼料の主原料である魚粉価格が安定的に推移したことなどにより飼料事業の収益が改善し、営業利益2億1百万円(前年同期比89.2%増加)、経常利益2億5百万円(前年同期比130.7%増加)となりました。四半期純利益は、特別損失が減少したこともあり1億28百万円(前年同期は53百万円の損失)となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、次のとおりです。

①水産食品事業

魚肉ねり製品におきましては、消費者の低価格志向により価格競争が激しくなるなか、消費低迷を反映して国内生産量は減少いたしました。こうしたなか、当社は販売単価の下落はあったものの、主力製品であるMソーセージを中心に販売数量を伸ばしたことで、増収となりました。

機能性食品におきましては、健康食品市場において血管疾患など生活習慣病の分野が注目されるなか、血管機能の向上などが期待される機能性食品素材カツオエラスチンや、高齢者向けソフト食「ソフミート」について、展示会などを通じ拡販に努めた結果、増収となりました。

水産調理食品におきましては、連結子会社の減少により、減収となりました。

これらにより、売上高は26億53百万円（前年同期比28.7%減少）、営業利益は97百万円（前年同期比44.2%減少）となりました。

②畜産食品事業

ハム・ソーセージ等食肉加工品におきましては、輸入加工品の減少もあり、国内生産量は増加いたしました。こうしたなか、当社は新規取引先の開拓に努めた結果、販売数量が堅調に推移したことで、増収となりました。

肉類におきましては、消費低迷と肉牛の放射性セシウム検出の影響により、豚肉、牛肉ともに国内生産量は減少いたしました。こうしたなか、当社は牛肉の取り扱いを減少したものの、豚肉相場の回復を背景に自社ブランド「霧島黒豚」を中心とした豚肉の拡販に努め、増収となりました。

調理食品におきましては、業務用具材などの拡販に努めたことで販売数量を伸ばし、増収となりました。

これらにより、売上高は91億32百万円（前年同期比0.8%増加）となったものの、食肉加工品原料の値上がりもあり、営業利益は69百万円（前年同期比63.8%減少）となりました。

③飼料事業

養魚用飼料におきましては、震災・津波による養殖魚の在池量減少や、魚価低迷、低水温の影響もあり、国内生産量は前年を下回りました。こうしたなか、当社はハマチ用、タイ用E P飼料の拡販と既存取引先への取り組み強化に努め、増収となりました。

水産物におきましては、魚価低迷により活魚の取り扱い量を減らしたことにより、減収となりました。

畜産用飼料におきましては、配合飼料価格が値上がりするなか、国内生産量は減少いたしました。こうしたなか、当社はブロイラー用などの販売数量の減少により、減収となりました。

畜産物におきましては、鶏肉「赤鶏さつま」を中心とした販売に取り組んだ結果、鶏肉の販売数量の増加と相場回復により、増収となりました。

これらにより、売上高は118億41百万円（前年同期比0.3%減少）となったものの、主原料価格が安定的に推移したことにより、営業利益は5億30百万円（前年同期比86.2%増加）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産等の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ19億25百万円増加し、純資産が2億15百万円増加した結果、自己資本比率は15.7%となりました。

変動の主なものは、受取手形及び売掛金が11億79百万円増加し、負債では長期借入金10億15百万円、買掛金が6億78百万円増加しました。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）

は、営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フローは減少したものの、財務活動によるキャッシュ・フローの増加により、前連結会計年度末に比べ2億59百万円増加の21億5百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は57百万円(前年同期は7億54百万円の減少)となりました。これは主に仕入債務の増加が8億51百万円、減価償却費の計上が3億48百万円あったものの、売上債権の増加が16億4百万円あったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は2億4百万円(前年同期は97百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が2億20百万円あったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は5億22百万円(前年同期は9億55百万円の増加)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が10億45百万円あったものの、長期借入れによる収入が19億69百万円あったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済の見通しにつきましては、東日本大震災で影響を受けた生産活動の回復や政策効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが期待されるものの、放射性セシウム問題などの食品業界への影響が懸念されます。

こうしたなか、当社は当第2四半期連結累計期間の業績の状況と、本年10月に発生しました生ハム製品回収の費用などを考慮し、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成23年11月11日に発表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,404,935	2,556,475
受取手形及び売掛金	5,471,723	6,650,884
商品及び製品	1,873,427	1,853,925
仕掛品	1,586,422	1,484,514
原材料及び貯蔵品	1,176,594	1,303,150
その他	200,375	334,370
貸倒引当金	△126,390	△155,827
流動資産合計	12,587,088	14,027,493
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,173,496	3,098,613
土地	4,659,672	4,672,501
その他(純額)	2,724,509	2,683,000
有形固定資産合計	10,557,678	10,454,115
無形固定資産		
投資その他の資産	50,597	59,163
破産更生債権等	2,668,133	3,109,242
その他	2,798,320	2,933,287
貸倒引当金	△1,155,363	△1,151,007
投資その他の資産合計	4,311,090	4,891,521
固定資産合計	14,919,367	15,404,800
資産合計	27,506,455	29,432,293
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,851,947	3,530,270
短期借入金	11,790,501	11,289,054
未払法人税等	38,955	65,563
賞与引当金	274,534	373,667
その他	1,389,384	1,700,699
流動負債合計	16,345,323	16,959,255
固定負債		
長期借入金	3,815,501	4,831,331
退職給付引当金	1,494,709	1,562,165
資産除去債務	5,425	5,483
その他	961,470	974,722
固定負債合計	6,277,106	7,373,702
負債合計	22,622,430	24,332,957

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,455,000	4,455,000
資本剰余金	797,309	797,309
利益剰余金	△938,727	△809,957
自己株式	△6,254	△6,254
株主資本合計	4,307,327	4,436,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107,071	170,893
その他の包括利益累計額合計	107,071	170,893
少数株主持分	469,626	492,344
純資産合計	4,884,025	5,099,335
負債純資産合計	27,506,455	29,432,293

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	25,839,791	24,684,401
売上原価	22,288,644	21,104,034
売上総利益	3,551,146	3,580,367
販売費及び一般管理費	3,444,584	3,378,730
営業利益	106,561	201,636
営業外収益		
受取配当金	46,906	43,281
設備賃貸料	51,814	51,688
その他	120,636	115,261
営業外収益合計	219,357	210,231
営業外費用		
支払利息	190,258	169,294
その他	46,420	36,655
営業外費用合計	236,678	205,950
経常利益	89,239	205,917
特別利益		
受取保険金	2,221	1,485
その他	926	189
特別利益合計	3,148	1,674
特別損失		
固定資産廃棄損	25,417	1,348
減損損失	1,389	4,571
その他	41,899	—
特別損失合計	68,705	5,919
税金等調整前四半期純利益	23,682	201,672
法人税、住民税及び事業税	70,667	52,105
法人税等調整額	11,083	△4,005
法人税等合計	81,751	48,100
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△58,069	153,572
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4,519	24,802
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△53,550	128,769

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△58,069	153,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△118,775	70,679
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	△16
その他の包括利益合計	△118,796	70,663
四半期包括利益	△176,865	224,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△167,135	192,591
少数株主に係る四半期包括利益	△9,730	31,644

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	23,682	201,672
減価償却費	380,718	348,902
減損損失	1,389	4,571
持分法による投資損益(△は益)	△28,745	△20,862
有形固定資産廃棄損	25,417	1,348
貸倒引当金の増減額(△は減少)	68,685	25,081
賞与引当金の増減額(△は減少)	190,341	99,132
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△65,570	67,455
受取利息及び受取配当金	△48,581	△44,639
支払利息	190,258	169,294
売上債権の増減額(△は増加)	△1,468,623	△1,604,025
たな卸資産の増減額(△は増加)	△730,417	△5,145
仕入債務の増減額(△は減少)	976,647	851,027
未払消費税等の増減額(△は減少)	△71,041	52,534
その他	11,424	△61,504
小計	△544,414	84,842
利息及び配当金の受取額	48,581	46,139
利息の支払額	△190,522	△168,468
法人税等の支払額	△68,150	△20,458
営業活動によるキャッシュ・フロー	△754,506	△57,945
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△401,302	△265,934
定期預金の払戻による収入	536,200	275,000
有形固定資産の取得による支出	△219,870	△220,671
無形固定資産の取得による支出	△4,113	△16,478
投資有価証券の取得による支出	△2,942	△2,769
その他	△5,031	26,362
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97,060	△204,491
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	651,000	△310,000
長期借入れによる収入	1,419,800	1,969,574
長期借入金の返済による支出	△1,038,560	△1,045,914
リース債務の返済による支出	△67,262	△82,249
少数株主への配当金の支払額	△9,150	△8,920
その他	△87	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	955,740	522,490
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34	△171
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	104,139	259,882
現金及び現金同等物の期首残高	1,911,158	1,845,977
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,015,298	2,105,860

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,721,334	9,061,368	11,872,885	24,655,588	1,184,202	25,839,791
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53,552	48,242	711,434	813,228	219,765	1,032,994
計	3,774,886	9,109,611	12,584,319	25,468,817	1,403,968	26,872,785
セグメント利益	173,929	192,074	285,178	651,182	84,427	735,610

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	651,182
「その他」の区分の利益	84,427
セグメント間取引消去	6,847
全社費用(注)	△635,896
四半期連結損益計算書の営業利益	106,561

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,653,191	9,132,744	11,841,112	23,627,048	1,057,353	24,684,401
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,367	57,751	716,741	780,861	208,706	989,567
計	2,659,559	9,190,495	12,557,854	24,407,910	1,266,059	25,673,969
セグメント利益	97,069	69,456	530,952	697,478	95,666	793,144

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	697,478
「その他」の区分の利益	95,666
セグメント間取引消去	454
全社費用(注)	△591,962
四半期連結損益計算書の営業利益	201,636

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。